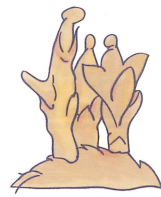


穴喰町文化財マップ



お問い合わせ●穴喰町文化財保護審議会
穴喰町教育委員会 ☎76-2027

—— 朱線は旧土佐街道

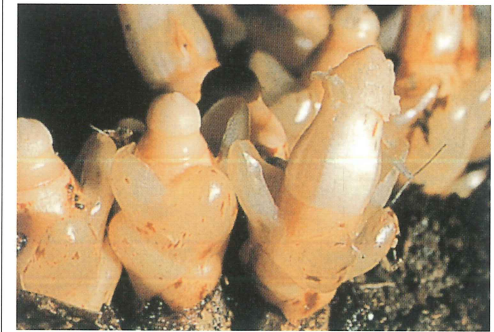
番号	名 称	概 略
1	穴 喰 浦 の 化 石 漣 痕	国指定(別記)
2	鈴ヶ峰のヤッコソウ発生地	国指定(別記)
3	大 般 若 経	県指定 大日寺蔵(別記)
4	穴喰祇園祭の山鉾行事	県指定(別記)
5	諸国風俗問状穴喰村答書	町指定 多田稔氏蔵(別記)
6	穴 喰 村 の 古 地 図	町指定 多田稔氏蔵 寛政年間(1789～1800)阿波藩測量方岡崎三蔵が測量したもの。穴喰浦はじめ旧枝村10か村の精密な絵地図で、彩色されている。
7	震 潮 記	町指定 田井晴代氏蔵(別記)
8	石仏 山越阿弥陀来迎図	町指定 願行寺蔵(別記)
9	一 石 五 輪 塔 二 基	町指定 元円通寺 願行寺保管 天文23(1554)年の銘と永禄5(1562)年の銘
10	鈴ヶ峰円通寺の鍮子(かんす)	町指定 元円通寺 教育委員会保管 (鍮子:湯を沸かす茶釜)
11	鈴ヶ峰円通寺の梵鐘(ぼんしょう)	町指定 元円通寺 願行寺保管 (梵鐘:つりがね)
12	毘沙門堂の鰐口(わにぐち)	町指定 小谷北河内の元毘沙門堂 教育委員会保管 「応永29(1422)年8月奉施人 細野御前」の銘
13	角 坂 の 板 碑	町指定 坂田清氏蔵 観応元(1350)年6月20日建立の供養塔
14	塩 深 の 板 碑	町指定 成福寺蔵 応永14(1407)年2月13日建立の供養塔
15	ハ ッ チ ョ ウ ト ン ボ	町指定 体長2cm 日本最小のトンボ
16	夫 婦 楠 (み ょ う と く す)	町指定 八坂神社(祇園さん)の神木
17	ハ マ ナ ツ メ	町指定 南方系植物 化石としてもよく発見される 本県では那佐のみに残存している
18	豊門(とよもん)の大ヒノキ	町指定 久尾の奥に自生している県下最大のヒノキ 幹周り約6m
19	穴 喰 古 墳	町指定 6世紀(大和時代中期)の横穴式古墳
20・21	狼 煙 (の ろ し) 台 跡	町指定 20:乳崎 21:竹ヶ島(各狼煙台跡)
22	竹ヶ島の生痕(せいこん)化石	町指定 漣痕と同じ約3000万年～4000万年前の砂岩石の底面に残っている生物の生活の痕跡の化石 はい歩きの跡 巣・排泄物などの化石。
23	海 部 刀	町指定 完昨住氏次の銘 教育委員会蔵 (完昨は穴喰の古い書き方 読みは シシクイ)
24	船 津 の 太 刀 踊 り	町指定(別記)
25	穴 喰 の 団 七 踊 り	町指定 奥州白石での娘二人による親の仇討ちをもとにした踊り 全国に広がっていた。
26・27	穴 喰 の 古 城 跡	26:祇園城跡(穴喰北城)八坂神社 27:愛宕城跡(穴喰南城)愛宕神社
28～34	阿 土 境 目 番 所 跡	28:竹ヶ島 29:古目(こめ) 30:金目(かなめ) 31:川口 32:元越(もとごえ) 33:船津 34:那佐 (各番所跡)
35	円 通 寺 跡	真言宗 9世紀のはじめ(平安期の初期)弘法大師の開山といわれる。
36	竹枝双雀鏡(ちくしそじゃくきょう)	鎌倉時代の銅鏡 教育委員会蔵 大正9(1920)年5月岸治茂登吉が、大山神社坊舎跡で発掘。
37	大 山 神 社 の 倒 木	慶長年間(1596～1614)の古文書に「すでに幾百年経過か不明」とあり、社殿の横に横たわって居る。
38	島 弥 九 郎 事 件 跡	土佐の戦国大名 長宗我部元親(もとしか)の阿波侵攻のきっかけとなった島弥九郎[元親の末弟親房(ちかふさ)]事件の跡。
39	長宗我部親房 鎮魂碑 (島弥九郎)	島弥九郎とその家来を鎮めるための鎮魂碑。平成14(2002)年4月6日に島弥九郎の直系17代長宗我部友親(ともしか)が建立。
40	芭 蕉 の 句 碑	江戸時代末期 其日庵左一(田井寛内)の主唱によって建立。 昭和48(1973)年に現在地に移転。
41	昏上清光(くれがみせいこう)の句碑	本名・昏上馬蔵 昭和36(1961)年 海部の富田疎永によって建立。
42	歌 碑 お 山 の 杉 の 子	穴喰町出身 吉田テフ子作詞 昭和49(1974)年11月3日町制50周年記念として建立。
43	紀 貫 之 の 碑	昭和49(1974)年2月12日 穴喰町出身 中島 源(もとい)氏が建立。
44	水 床 の 奇 岩	波の浸食によってできた奇岩。時代によって多少の変化はある。座頭岩・鼓岩・下がり亀・立浪(たつなみ)・へそ岩 など
45・46	久尾奥の飛瀑(ひばく)	野根川上流の滝 45:冷谷の雄滝(ひやだにのおんどど) 46:石の滝(いしのとど)
47	あ せ 谷 の 滝 (と ど)	滝つぼのくぼみに入った石が、激しい水の流れによって回転して岩をけずり鍋状の深い穴[甌穴(おうけつ)]が見られる。深さは5m以上ある。
48	大 山 神 社 奉 納 古 銭	中国の唐代・開元通宝(621年)から明代・宣徳通宝(1433年)までの古銭1,973枚を確認。[平成12(2000)年調査] 穴喰図書館保管。

か せき れん こん
①穴喰浦の化石漣痕



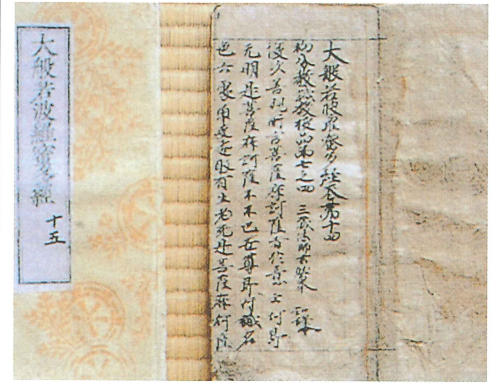
■国指定天然記念物
地質時代の第三紀始新世(約3000万年～4000万年前)の頃この地域は海面下にあり、絶えず土砂が陸地より運び込まれて模様が保存された。その後、地殻変動が起こって、現在の状態になった。露出面積の広大なことは他に例をみない。

②鈴ヶ峰のヤッコソウ発生地



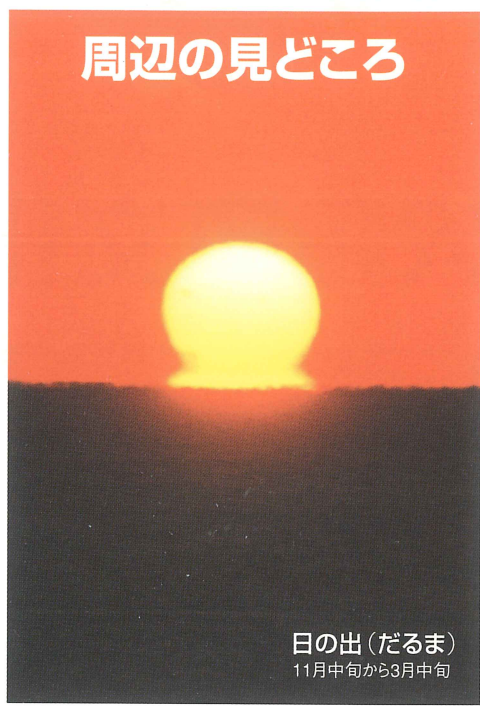
■国指定天然記念物
鈴ヶ峰一帯の元円通寺観音堂境内は、椎を主体とする樹木で覆われ、その根に「ヤッコソウ」の群生が各所で見られるほか、本邦ではまれに産する熱帯性の植物が多く繁茂する。これらの中には珍稀な腐生植物がある。その主なものをあげるとヤッコソウ、シロシャクジョウ、ホンゴウソウ、マツバラン、ナギラン、ルリダマノキ(ルリミノキ)、カンザブロウノキなどがある。
ヤッコソウは熱帯性植物で、世界では4種類が知られ、本県はその北限である。

だい はん にゃきょう
③大般若経



■県指定文化財・大日寺蔵 平常拝観不可
鎌倉時代初期建永元年から建保年間(1206～1218)にかけて、僧重慶が願主となって筆写された鎌倉本522帖と、江戸時代に補充された黄檗本(版経)47帖があり、本県には鎌倉時代初期の大般若経は数少なく、歴史的、学術的にも価値の高いものである。

④八坂神社の祇園祭

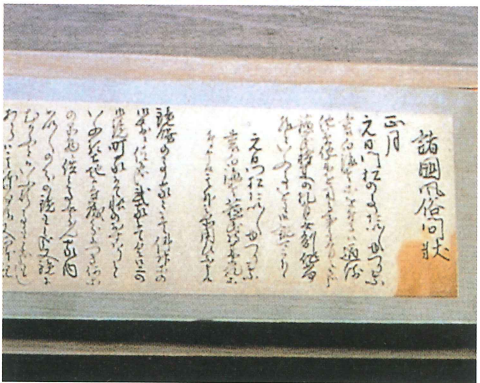


ぎ おんまつり
④八坂神社の祇園祭



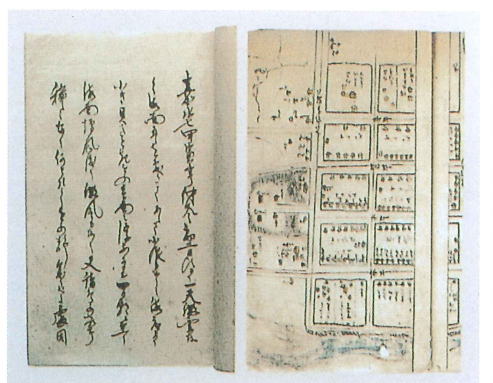
■国選択・町指定文化財
八坂神社の祇園祭は7月16日が宵宮で夜店が並び、打上花火などもあり多くの参拝客で賑わう。17日は本宮で奉納舞や神輿渡御とともに団尻(3台)・関船(1台)・山鉾の・巡行もある。
山鉾行事は形態(大山と小山を連結)、組織、運営などに特異性があり県民俗文化財にも指定されている。

しょう こく ふう ぞく としじょう どう しょう
⑤諸国風俗問状穴喰村答書



■県指定文化財・多田稔氏蔵 平常参観不可
文政元(1818)年9月江戸幕府の命により阿波藩が庶民生活、風俗習慣などを尋ねた問状に対する、与頭庄屋多田本左衛門が差し出した答書。現存するものは珍しく、県下では高川原の旧庄屋板東為七氏宅のものがあるが、全国的にも数少ない民俗資料である。

しんちょう き
⑦震潮記



■町指定文化財・田井晴代氏蔵 平常参観不可
安政2(1855)年11月5日、与頭庄屋田井税伯(寛内)が、永正、慶長、宝永、安政の地震、津波等による穴喰浦の災害について克明に記録したもの。極めて貴重な民俗資料である。

せき ぶつ やま ごし あ み だらいこうず
⑧石仏 山越阿弥陀来迎図



■町指定文化財
戦国時代、長宗我部氏の穴喰城代野中氏の一族、野中助兵衛が逆修供養のために建立。天正18(1590)年2月15日の銘がある。阿州完昨長福寺(現願行寺)栄伝作。鎌倉様式を表した図柄は見事なものであり、当時の本町の繁盛を証するものである。

ふなつ た ち おど
②4船津の太刀踊り



■町指定文化財
平家伝説にかかる太刀踊りは、この地に潜んだ平家一門の末裔たちが、ひそかに主家の再興を願って、日ごろより武芸を練り、盆の三日間その成果を踊りに託して、祖先の霊を慰めるために演じてきたのが、今に続いているものである。